いわき民報
發行所 平市田町48 電381.176 いわき民報社
編集兼印刷發行人 田原登

神經痛 婦人病 外傷性の諸障害
名湯 うばの湯
常磐線湯本驛下車 磐崎村上湯長谷

漁區擴張は濱に好影響
遠洋漁業で不振挽回
鑵詰工業復活されん

平市才槌小路縣水産事務所では今度の漁區五割方の擴張について『これはマッカーサラインを今まで嚴守してきたおかげであり今後もますます總司令部の信用を得るように努めるべきである』と二十四日水産廳健友遠洋課長を招き江名港（豫定）で漁區擴張に伴う説明會を開き漁民の良心的な健斗を促すことになつた

今度の漁區擴張に伴い四十隻近くにのぼる本縣の遠洋漁船は今までの不振を一氣に挽回しようと新漁場を得て張切つているが果して五割の漁區擴張によつて五割の水揚が增加するかどうか業者もその點疑問をもつているようだが然しこの朗報はカツオ、マグロ業者にとつては實に得難たいものであるとして喜んでいる

特に新漁區に出漁するに際しては他縣に根據地又は寄港地を持たずとも一直線に往復出來る點と漁獲物のうちビン長鮪類は魚肉が七面鳥と味が似ているためアメリカ人にも良く歡迎されておりこれらの水揚により磐城七濱では今まで沈滯勝ちだつた各鑵詰工場亟に冷凍事業が活潑に操業を始めることになるものとして大きな期待を寄せられており、また漁期から云つてもこの鮪延繩漁業は各遠洋漁船がサンマ漁を切上げてから直ちに取かかることになるので今冬のマグロ漁業には相當ハマでは力を入れることになる模樣である

第七概現丸が坐礁
目下救助作業中

江名町鹽榮作氏所有第七概現丸（二七・六五トン、八十五馬力）は二十日ごろ宮城縣氣仙沼港外で坐礁、縣指導船共盛丸（百二十八トン）が離礁作業に從事している旨水試無電局に入電があつた、損害程度やその他は不明だがこのため共盛丸のサンマへの出漁は三、四日遅れる見込み

この第七觀現丸は去る一日小名濱港で遭難した觀現丸の代船で鹽氏が吉田儀氏より譲受けたものである

鰹船からSOS
機關に故障漂流中

小名濱海上保安署では二十一日午後九時頃小名濱町古湊三代義勝さん所有のかつお船新日本第二丸（一五六トン）が双葉郡富岡沖海上で機關に故障を起し漂流中とのS・O・Sを傍受したので早速救助船を派遣救助に乘出した

山田村に赤痢

山田村井ノ上農蛭田久子さん（二五）は二十日赤痢と決定隔離した

民自平支部婦人部結成

民自黨平支部の婦人部結成式は二十一日午後零時半から本社ホールに開催、金古支部長の挨拶に次いで佐藤千枝子氏から經過を報告、支部の規約に基き別に内規を定めることになり、役員を決定、婦人の政治意識を昂揚政治を台所へ直結する運動を行うことになつた正式黨員を受けた黨員は二百余名に達しているが、當分の間部長を設けず、幹事制に依つて部の運營を行うことになつた

◇幹事佐藤みさ子、佐藤千枝子酒井愛子、大平ち江、佐藤優子、鈴木きぬ鎌田さだ、永井喜久、本田とく、萬崎しめ、井上高子延松みさ子 石川美子◇顧問關内品子、金古まつ子本田一惠蛭田いさ、水竹しづ、大塚こう

勿來の火藥庫を破る
事件を重視、捜査中

勿來町大字窪田字町通火藥商關根忍さん（四八）所有の同町字御前崎にある火藥庫に十九日夜怪漢が忍び込み火工品貯藏所の扉を掛矢ようのもので破つたが火藥箱で一杯だつたため中に入つて物色することは斷念した形跡があり報せにより勿來町署では前の太日本勿來炭鑛、茨城縣關本炭鑛の火藥泥も捕まつていない折柄一應事件を重視捜査に當ることになつた

公金横領の嫌疑も濃厚
開拓農協專務

（昨報）平地區署では二十一日石城郡開拓農協組專務理事兼箕輪村開拓農協組合長高萩凱氏（五三）を檢擧取調べているが同氏は昨年八月前記地位に就くと共にその地位を利用して箕輪村大字高野白鳥盛さんに一俵四千二百円で加配米三十俵を、また同村大字關場高萩鶴吉さんに同じ價格で十俵を、更に平市古鍛冶町遠藤吉彦さんに一俵五千円で十俵を横流ししたのを初め衣料品、肥料を横流ししていた疑いによるもので取調べの進行と共に公金横領の疑いもそ上にのぼつて來た模樣である、即ち同氏は昨年十二月から本年五月までの間に政府から營農資金として八万五千円を借用更に本年六月から八月までの間に同じく開拓者住宅助成金として九万四千円の交付を受けているがその中十万四千円を前記名目で支出したため現在手許に七万五千円殘つている筈に拘らず一万円だけしか所有せず殘金六万五千円が使途不明になつているものでこの點公金横領の疑いをかけられている

鹿島農協組長
文書僞造で送檢

（昨報）二十日夕平地區署に檢擧された鹿島村農協組長志賀久馬氏（四三）は二十二日文書僞造行使、詐欺容疑者として送檢された

車中で脅喝
千百圓强奪

安達郡二本松町字久保町古物商三浦一男さん（二一）は二十一日午後一時頃磐越本線上り列車に乘車小川郷、江田兩驛間を進行中身長五尺位白シヤツ、白半ズボン、白ズック靴の二十一、二才の怪漢に脅かされ現金千百円をまき上げられたと小野新町地區署に屆出たので同署では平地區署と協力犯人捜査に乘出した

犯人を檢擧

同夜九時頃小川郷驛附近で赤井村大字高萩字山ノ入無職物井祐（二三）を檢擧取調べた結果犯行を自供した

未亡人教養指導會
廿九日、三郡から三百名參集

縣では未亡人の教養を高めて行くため來る二十九日平市公會堂日本間に濱三郡未亡人教養指導會を開く、講師は中央と縣から派遣になる豫定だが參集者は約三百名

廿万圓相當
衣類泥御用

箕輪村大字大利無職趣水濟（一九）は去る八月二十二日仙台市北六番町齊藤養之助さん方から衣類三十五點時價二十万円相當を盗み指名手配中であつたが三十二日朝自宅で平地區署に捕まつた

あす二中出發
五市對抗野球に

平第二中學野球部は廿三日郡山市で開く五市對抗親善野球大會に出場の爲同日一番列車で出發する、學校、PTAから約五十名の應援團も同行

天氣予報 廿三日

【今晩は】北寄りの風、小雨模樣【明日は】北東の風曇勝ちで時時小雨、海上沖合はうねりがありますから小型漁船は御注意下さい

天眼鏡

共産黨が平事件を惹き起して以來、一方的な宣傳を傳え、勝手な熱を吹き放題だつた爲、地方民はダキしたいような不愉快な感じを抱き、『民自黨何をしている』と極端な批判をするものさえあつたが、二十一日の民自黨演説會で樋貝、山口兩大臣が、共産黨の主義行動など完膚なきまでこきおろしたので聽衆はたまつていたシコリが下りたような、胸のすく感じだつた

初サンマ漁獲の朗報
水揚は廿五日頃の見込

サンマ漁の第一報が入つた小名濱水試無電局でキヤッチした無電によると江名港所屬のツルギ丸亟に榮福丸が二十一日朝まで各一千貫、更に榮福丸は二十一日から二十二日にかけて計三千五百貫のサンマを積み漁少ないけれども歸港につく旨知らせがあつた今のところ同船が初サンマの水揚第一船になる見込みだが漁場の北海道襟裳岬百八十マイル沖合から歸るとしても二日半はかかるので本縣水揚は二十五日ごろになる見込みである

編物講習會

講師＝福島高等編物學院長 須藤千代乃先生 外數名
場所＝いわき民報社ホール
時＝九月二十四日ヨリ五日間 午前九時ヨリ午後三時マデ
會費＝二百五十圓
主催 平高等洋裁學院 平市紺屋町二二電一七八
申込受付
講習第一日は鉛筆 ノート御用意下さい

民報論壇
失敗の縣農地委選擧
田原登

縣農地委員の選擧が終了した、この結果石城郡下からは四名の立候補者は枕をならべて討死するに至つた

浜通り一市三郡下から双葉郡新山の山田光政氏（三號階）がただ一人當選しただけであつた、定員十名のうち僅か一人しか獲得出來なかつたわが石城は縣下で一番大きな郡で今度の有權者である市町村農地委員の數も縣下一の多數を占めていた、にも係わらず一人も選出し得なかつたと云うことは本郡市の爲に大きな損失と云わなければならない、

選擧は水物でなかなか豫想通りには參らないが、この有權者たちが今少し今回の選擧に目が明るく郷土愛の觀念が强かつたならば一人だけは獲得出來た筈であつた

即ち一號階は有權者が六十九名、二號階は七十名であつたから當選者の得票數と比較してこれは本郡だけでは到底問題とならなかつたが、三號階においては有權者は二百十名あり、若しこれが一致協力して一人の候補者に投票すれば悠々當選させることが出來た（二區の三號階當選者の最低得票は百六十七票であつた）

處が郡下から出馬した鈴木勇氏は郡市の得票が九十八で松崎叶氏は五十一で共産黨の草野茂氏は僅か八票であつた、若しこれが候補者を一人にして行なえば他郡の力を藉りずに獲得出來たのである

農地改革問題は今後にも殘されている、而してこの問題はなかなか重要なことであつて、これを他人委せにすることは有形無形にその損失は少くない、郡市下に起る種々の農地問題は若し郡下から選出しているとすればその人が最も事情にくわしいので委員會にかける裁決も正確妥當を期することが期待される筈である

要するに今度の選擧を顧みて本郡市としては大きな失敗でありその原因は有權者である農地委諸君の政治觀念の低劣をまざまざと示したものと云われても仕方ないのである

近火見舞御禮
平市正月町一七 株式會社 佐藤治郎鑄工場 電話六七二番
平市立町八七 佐藤榮吉 電話四八三番

鷄肉大勉强
上胸 一六〇円
中肉 一四〇円
モツ 一二〇円
平市白銀町 長谷川鷄肉店

女中さん入用
二十二、三才
平市中町 ときわ 電一〇九九番

皆様の御要望により 配給パン 甘くなりました

福島縣食糧公團 指定工場
【平市】
平製パン工場 電二一番
市川パン店 電九三六番
ベーカリー 東京堂 電一、一〇八番
開花亭 パン店 電三四二番
日進堂 パン店 電六三五番
金世堂 パン店 電呼八二五番
猪狩製パン工場 電一、〇七七番
【湯本町】
新高 パン店 電二三六番
湯本 ベーカリー
【四倉町】
今井製パン工場 電一二八番
【小名濱町】
榮泉堂 パン店 電四六四番
皆川製パン工場 電三一四番
ヤマキ製パン工場 電四七番
【植田町】
金澤製パン工場 電呼一四二番
【錦町】
錦製パン工場 電呼一三六番
【勿來町】
長南製パン工場

元文義民の碑（中）

史談會員 鈴木光四郎

元文三年一揆起る

以上のように磐城騷動、小姓騷動や領主の政治無關心などによつて藩政は極度に紊亂した。これに加えて領民に重税を課したので百姓は重なる不滿を爆發したのが元文三年の百姓一揆である。

享保十年（西一七二五年吉宗時代）十月、幕府は平藩に命じて下野國の渡良瀨川の改修に着手せしめた。德川幕府の傳統的な藩財政の疲弊政策である。内藤氏はその財源を求めて藩内に百石に付き金壹兩を課して竣功したのである同十六年更に日光廟修理の命を受けたので重ねて百石に付き金貳兩を課した。領民には苛酷なる重税であつた。

元文三年正月家老内藤治部左衛門など重臣協議の上、更に爾後七年間百石に付夫役金壹兩三分を課し又酒、麹、豆腐等を賣る者もその賣高に税あり、賣人の荷物十駄につき輸入税五百文輸出税も五百文その荷物を賣るもの其の賣高に應じ賣高十兩につき四百十六文の税あり、その他月、障子、疊の多少に應じて家屋税を課した。このとき重税怨さの聲が起つて八月の納入期に至るも領民は納入出來ず九月になつてその督促は急を告げた。領民は陳情を重ね苦情を訴えたが認められず却つて譴責を受け或は投獄されたので物情騷然となつた。偶々急狀一通領内を廻り九月十七日辰の上刻を期して領内を廻り七万石の惣百姓十八ヵ條の訴願狀を捧げ村毎の標旗を掲げ鍬鎌斧鉈等を携えて平城に押し寄せた悲憤激昂の一揆の總勢數万人に及んだ

磐城史料によれば次の通りである。玉山組は狐塚の與右衛門宅に押寄せ家屋土藏を打破り味噌酒桶を切り米穀を踏散した。神谷組は赤沼の七右衛門宅を破壞し家具を破損した。十八日暴徒は四方より平城下に亂入したが鎌田口より五千人谷川瀨口より三千人白土口より三千人長橋口より二千人平久保口より三千人好間口より四千人法螺貝を吹いて怒濤の如く押し寄せた。

平城下の模樣

第一隊は三丁目の市郎右衛門宅を破壞し次に一丁目の役所を襲つた。この役所は七万石の政務所であつたがこの襲擊によつて知行割賦册、新たに徴收する諸税及び夫役金の割賦帳など總て破棄されてしまつた。二丁目の獄舍を破つて訴願のため投獄された荒田目村の喜惣次を奪い取つた。十九日暴徒は更に三松金左衛門宅へ押寄せ家具を破壞し田町門を破り會所に亂入して火を放つた。會所に所藏した七万石賦税に關する總括原簿、山海村里明細地圖、武士系圖など更に前城主鳥井氏よりの知行割賦册、藩士町人百姓、格式目錄など總て燒失したのである。

このとき重臣は藩士に令して日く、暴徒は領内の百姓であるから傷害することなく空砲を發して威嚇し退かないときには臨機の處置を爲せと。二十日午後大手門を開いて騎士四人刀槍隊百人を從えて百しようの頭取に會見を求めた中神谷村武左衛門狐塚村藤三郎小川村長兵衛木戶村半次右衛門等之を迎え百しようの苛税を苦しみその疲弊極度に違している實情を訴えたので役人達は之を承認して城内に入つた。暴徒の氣勢ここに於て挫け散々に村里に歸つたのである。

既に閉山炭鑛卅三

中小炭鑛半數は崩壞か

四月以來平石炭局管内で休廢止した炭鑛は日曹福島、矢郷磐城、神奈川（大山坑）福來（秋田縣）彌富（岐阜縣）荒澤（新潟縣）の七炭鑛でその失業者は七百四十六名、轉換就職した者がタツタ三十四名殘りの者は歸農者十名、歸郷者八名、自營者三名、その他二十五名となつておりこの外地管審議會にかけず休廢止している炭鑛が福旺炭鑛外二十五もある、なお今後鑛區の老衰低品位炭、能率低下等により本年度中には管内百六十炭鑛の半數位に整理されるものとみられ四万二千三百名（七月現在）の炭鑛從業員はその半數に整理されるものとみられている

初の商業祭

十月十四日に開催

平商研主催商業祭第一回打合會は二十日午後三時より平工高に開き平商工會議所伊藤常務、田口商研會長ら約三十名出席した

日時は十月十四日とし會場は平工高又は平商高グランド、プログラム原案發表あり役員選衡その他は次回二十三日夜本社ホールの第二回打合會に持越した

この商業祭は初年度のこととて運動會的な催に止まつているが將來は『共進會』的な商店會の年中行事の一つともしたいと云う計畫で當日の打合會も活氣ありこれが實現の上は相當期待されるものと思われる

第四船團の十四名

廿三日夕刻歸鄉

二十三日夕刻の指定列車で歸鄉するシベリヤからの引揚第四船團第一船遼州丸の郡市歸還者は左の十四名

▽佐藤良雄（平）今井康七（仝）川内興太郎（錦）時政光男（内郷）瀰原賀（赤井）富岡一（植田）水野武雄（町村不詳）小石澤敏一（澤渡）長谷川良雄（好間）宮本誠（泉）相川寛一（赤井）磯上幽閑（磐崎）高萩利一（小名濱）鈴木弘（神谷）

ソ連狀況の座談會開く

植田町青年民主會（會長鈴木英夫氏）では二十日午後九時から同事務所に最近ソ聯から引揚げて來た同町武田助治（三六）氏を圍みソ聯抑留狀況に就き座談會を開いた

通學列車の增發を陳情

平市内の四高校では學生の汽車通學上不便で困るから上り平驛發午後三時半の通學列車を運轉して貰いたいと二十日各校の代表者が水戶管理部に陳情した

競賣を延期

平稅務署で

平稅務所では昭和二十三年度迄の所得稅、法人稅、增加所得稅、財產稅等の總滯納額が一億五千万円にのぼつているので佐藤署長指揮のもとに署員二十五名が管内各方部毎に分れて未納者の財產差押え處分を通告ー差押物品千八百件の競賣を二十二日平市馬目酒造店倉庫で實施する豫定であつたが二十日の期日までに引渡し通知によつて提出されたのはわずか八件（二十万円）に過ぎず競賣は日延べとなつた

全署ではこれに鑑み該當者に對して再度の通告を發し二十六、七日ごろまでに提出のない分に對してはトラックで物件を押收する

米糠の配給要請

炭勞東部支部では縣經濟課に對し、勞働者の欲求している米糠を配給してくれる樣にと二十日要請した

水泳大會

平二中で開く

平第二中學校水泳部では二十一日午後二時から磐高プールで校内水泳大會を行い個人競泳及學級對抗の優勝者にそれぞれ表彰狀を授與したが、當日特に喝采を博したのは潛水行で一年七組の小針三郎君が三十四米、二年五組の檜山弘君三十米、三年二組の馬場宏君が三十五米を潛つて優勝した

生活懇話會

廿四日夜

平生活懇話會九月例會は廿四日午後七時から本社ホールに開くが、一般の出席も歡迎している

九十六パーセント

農地委選擧投票率

（昨報）農縣地委員選擧は天候にめぐまれて出足よく石城地區では平、植田兩投票所とも定刻午後六時前に投票を終了した

兩投票區の有權者數は一號六十九名、二號七十名、三號二百十名で投票率は一號層九十四%二號層九十六%三號層九十九%という好成績を示した、開票の結果地元立候補の鈴木勇氏（三號）は平七十一票、植田二十六票、松崎叶氏（二號）は平三十七票植田十六票、久保木保雄氏（一號）は平三十八票、植田二十票、草野茂氏（三號）は平七票、植田一票の得票であつた

クリーム色

圖書室完成

誇る磐女高

磐女高校圖書部では校舍の一部を改修して縣下一を誇る學校圖書室實現を目指して來たが、四万円を投じた總クリーム色の圖書室は中央に花壇を設け閱覽者百二十名を容れる明るさでこの程完成、今年度の目標である圖書一万册の整備計畫に向つて着々運營の手を延ばしている

松川葉の收穫終る

案外好成績、收納は十一月末

專賣公社平出張所管内の葉煙草收穫は既に終り目下乾燥期にある、今年の耕作反別は百七十町步で反當り平均百四十三キロになる見込み、始めての松川種の耕作としては本場田村郡の百五十二キロに及ばなかつたが平垣地方では百五十キロまで確保した農家も多いので成績は良好であつた、なお今年の收納は脫穀の關係もあるので例年より約一カ月遲れて十一月末より始める豫定

貯金通帳盜難

平市正月町洋裁業藤和子（二一）さんは去る十七日平第三小學校で運動會見物中手提箱の中から同人名義の貯金通帳二通（計百八十四記入）利子通帳一通（二萬円記入）現金百円印鑑等をすられ二十日平市署に屆出た

一小校落成式

廿四日擧行

平第一小學校落成式はまた延期廿四日午後一時から擧行に決定した

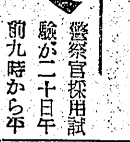
四年の判決

尊屬殺しに

双葉郡上岡村上手岡農金谷一男（二四）にかかる尊屬殺しの判決言渡しは二十一日午前十時半から地裁平支部で志村判事から求刑通り懲役四年の判決

野荒し檢擧

平市署では最近市内下平窪地内に野荒しが横行していると聞き二十日夜同地内に張込んでいた所夜半頃背負い籠を背負い素足を泥まみれにした通行者を發見不審訊問した結果右は赤井村大字赤井無職門馬シカ（五六）で同夜甘藷六貫茄子一貫を盜んだことを自白した



警察官採用試驗が二十日午前九時から平地區署會議室に開かれた、集まつた連中九十二名、二十五、六才位のベリくという面面、數學、國語、作文、社會常識の試驗のうちリコールという出題に對し、外國と日本で出來た物を物交する、イデオロギーを民主主義の象徵で男女同權の樣なことだ等チンプンカンの解答もあつて試驗官を苦笑させた

傳說口碑

史談會員 鵜沼孝昌

萬物は流れるとヘラクレトスはいつたがこのような事物の流轉の意識が歷史の意識である。しかしながら一切がたゞ流れさるもの、單に生成し推移するものであつて何者もとゞまるものがないとしたならば歷史というものはないであろう、過去のものが現在につたわるということがあればこそ歷史はある、傳統は歷史の重要な役割を保つている、傳統は特に傳說となるでんせつは歷史的傳承の最も生命的な形態であるといわなければならぬ、故に人の傳記をかくには史實を負ばなければならないことはいうまでもないけれども年を經るに從つて個人の史實は多くの人に忘れられてしまうそこで史實の忘失を發うる人があつて之を記錄にとゞめて置く、これを文獻として後世の歷史家が傳記をかくこの場合に史家は片言隻語といえども自己の空想または相像を交えてはならない、この文獻のみによつてかいた傳記を正傳という、けれども少く有名な人には諸種のでんせつ口碑には往往にして信ずべからざるものがある、だからこのでんせつ口碑をも併せ記した傳記はもはや正傳ではないこれを外傳という、個人を内からみて記したでんきでなく外部からみた傳記だからである、この外傳には多少の空想や相像がゆるされる何となれば一つの傳說一つの口碑が極めて多くの史實を說明すると信ずるからである。そこに傳說口碑の尊重說が起るこの傳說口碑を尊重した外傳を稱して歷史小說という、既に歷史の二字を冠する以上史實を無視すること絕体にゆるされない小說という名を有する所以のものは史實に傳說口碑を加えるからである。然るに終戰後りベラリズムの史家があらわれ、傳說口碑や神話を追放し勝手に之を改竄しワイ曲し扱き卸すということは果して社會科學に忠實なる所以の途であろうか、傳說口碑というものはそのまゝに生すところに妙味があるので必ずしも傳說口碑はつくり話に過ぎないといわれまい。

第4回 七福定期預金
辨天賞 30万圓
1口 千円 空くじなし
皆樣の銀行 七十七銀行

☆近日開店☆
小料理と御酒
氣輕く・氣分滿點の店
燕樂
平東寶裏新道通

電話も牛乳も戰前に復歸
◉戰時中に御用になつて居りました五一番の電話がまた元の岡田ミルクプラントにもどりました
◉牛乳も次第に增産されて來ましたので午前午後の一日二回配達制を實施して皆樣の御用命をお待ちして居ります
岡田ミルクプラント
電話五一番

日本の建設は神佛の力に依る
佛壇 位牌 佛具 金物
元祖 山光堂 佛具店
平市四丁目局向（電五五〇）

◇ベニヤ板 大量入荷
格安、勉强致シマス
織田銘木店
平市一町目二五
電話平 店四六〇 工場二三五

高級銘仙フトン
上綿入 大特賣！
某寢具會社の整理品
一組 六、五〇〇圓にて
早い方より五十組限り提供
◇婚禮用旅館用に最適品です
平市二丁目 電七四八番
ふくたや ふとん店

コロンビヤが初秋に贈る輕音樂と歌謠祭
留守家族慰問の夕べ
一、コロンビヤ專屬 鶴田六郎
一、東寶スター 若原春江
一、コロンビヤニユーフエイス 久米計夫 江南佳代子 葵三千子
一、專屬樂團ニユー・ラツキー他コロンビヤ演奏團
トキ 九月二十三日晝夜二回
トコロ 平東寶
主催 ソ連歸還者地區連盟

廣告
一、十六インチ手押鉋機 一台
一、二十四インチ自動送鉋機 一台
右至急讓リタシ
姓名在社

炭棒印コツミ
木炭よりお德用でお値段の安い
特殊棒炭の御使用をお勸め致します
配達迅速
近納信義商店
工場 平市才槌小路 電九四二